



個展で展示される作品

上西さんは日本への留学経験があり、これまでも浮世絵からヒントを得たり、和紙や江戸時代の地図といった日本の素材を用いるなど、日本の要素を作品に取り入れてき

た。制作は上西さんにとつて『自分の日本』を作っている感じ』という。また「日本人もそうだが多くの日系人は誇りを持っている。最近是人や文化が混合し、海外へ移住するということも珍しくなくなってきた。そういう時代なのだという気持ちで考えた方がいい」と、自身と同じ日系の若い世代に向けて、自分の思いを語った。今後については「大き

日系芸術家の上西エリカさん(32、3世)はきょう28日から7月31日までFUNKY(聖市サント・セシリア区アラメ

ダ・ノスマン街1058番)で個展「Jardim」を開催する。今回の作品について上西さんは「枯山水をイメージして制作した。形になったのはブラジルだが、構想を練ったのは日本だった」と紹介した。

た。制作は上西さんにとつて『自分の日本』を作っている感じ』という。また「日本人もそうだが多くの日系人は誇りを持っている。最近是人や文化が混合し、海外へ移住するということも珍しくなくなってきた。そういう時代なのだという気持ちで考えた方がいい」と、自身と同じ日系の若い世代に向けて、自分の思いを語った。今後については「大き

日本の要素を作品に取り入れ

上西さん、今日から個展開催

な個展を経験すると、次にすることが難しくなるが、これからも頑張らなければいけない。プロフェッショナルとして実績を作りたい」と抱負を述べた。開場は午後2時から同10時まで、入場無料。初日の28日は午前10時からオープニングセレモニーが行われる。